

委員からの意見に対する対応状況について

令和7年3月

近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所

目 次

委員からの意見に対する対応状況報告	1
資料①: 令和6年繁殖期に巣立ったクマタカ幼鳥の確認範囲	2

	委員からの意見	対応状況
①	移植関連地域の土壌・水質環境に対して工事の影響がないか、モニタリングを実施すること。	工事で発生する排水については濁水処理を実施し、基準を満たした状況で排水するなど環境保全措置を実施している。あわせて、水質のモニタリングを実施しているが、現状、特異値は確認されていない。今後、継続して水質モニタリングを実施し、特異値等が確認された場合には委員に報告し、対応について相談させていただく。
②	営巣中心域の一部となるクマタカ幼鳥の行動範囲の把握に努めること。	令和6年繁殖期は、クマタカAペア、Bペア及びEペアの巣立ちを確認した。その後、現地調査により、幼鳥の行動を継続して確認中である。(令和7年2月時点の幼鳥の行動範囲を営巣木からの距離で資料①に示す)。これらの範囲は営巣中心域の一部となり、クマタカの繁殖にとってより重要なエリアとなるため、引き続き、クマタカの繁殖状況に留意しながら工事を進める。
③	クマタカの定点調査について、調査時期や時間帯を状況(繁殖ステージや天候)に応じて、可能な範囲で適切に設定したうえで実施すること。	当初は調査開始時刻は8時であったが、令和6年4月以降は、開始時刻を6時とした。それにより、例えば、営巣地の詳細位置が不明であったEペアにおいて、繁殖を指標する行動を確認できた(令和6年5月29日7時35分)。それらのデータより、営巣木の特定につながった。 今後もクマタカの繁殖ステージや天候に応じて、適切に調査時期や時間帯を設定したうえで調査を実施する。
④	アジメドジョウの調査について、近年は大きな出水がなく調査を実施できていないため、70m ³ /s未満でもそれに近い洪水時でも実施すること。 あわせて、水質(濁度)の調査も実施すること。	令和6年6月23日に70m ³ /s以上(最大91.3m ³ /s:6月23日、18時台)の流量を観測したため、河川の水位が低下した6月27日～28日にアジメドジョウの調査を実施した。 あわせて、6月23日に水質(濁度)調査を実施した。(結果は資料－4に掲載)
⑤	河床材料の調査にあわせて、流下物の調査を実施すること。	令和6年12月実施の河床材料調査にあわせて、流下物の調査も実施し、植物片等が確認できた。(結果は資料－4に掲載)

◆令和6年繁殖期に巣立ったクマタカ幼鳥の確認範囲

資料①

Bペア幼鳥
確認範囲
(巣から255m)

Aペア幼鳥
確認範囲
(巣から177m)

本図は、絶滅のおそれのある
野生動物を保護する観点から
非公開としています。

Eペア幼鳥
確認範囲
(巣から220m)